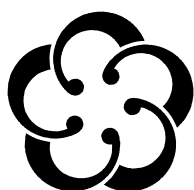


年 表

時代	年代	おもなできごと
先土器・縄文・弥生時代	1世紀以前 1世紀	狩りや魚とりの生活がおこなわれる 農耕生活が始まる
大和・奈良・平安時代 鎌倉・室町・安土桃山時代	7世紀 11世紀 1180年 1495年 1504年 1590年	治承4 明応4 永正1 天正18 久野に高塚式古墳が作られる 小田原周辺で武士が登場する(中村氏、土肥氏など) 源頼朝が石橋山で平氏方に敗れる 北条早雲が小田原城をおとし入れる 早雲に招かれた宇野藤右衛門が秘薬「秀頂香(ういろう)」をつくる 豊臣秀吉が小田原を攻めて、北条氏をほろぼす 大久保忠世が小田原城主となる
江戸時代	1703年 1707年 1708年 1711年 1726年 1782年 1787年 1799年	元禄16 宝永4 宝永5 正徳1 享保11 天明2 天明7 寛政11 江戸大地震がおこり、天守閣もこわれるほど大きな被害を受ける 富士山が大噴火し、火山灰により大きな被害を受ける 大口土手が切れる 大口土手が切れる 田中丘隅、文命堤をつくる 小田原地方に大地震がおこり、大きな被害を受ける 二宮尊徳が栢山に生まれる 小田原藩と川口広蔵の指導のもとに荻窪せぎが完成し、58町余の水田が開発される
明治時代	1871年 1872年 1876年 1878年 1888年 1889年 1896年 1900年 1903年 1906年	明治4 明治5 明治9 明治20 明治21 明治22 明治29 明治33 明治36 明治39 小田原県ができたが、その年のうちに、足柄県になった はじめての小学校、日新館(今の三の丸小)ができる 足柄県が神奈川県にふくまれることになった 新橋—国府津間に鉄道が開通した 国府津—小田原—湯本間に馬車鉄道が開通する 小田原町となる(人口約1万6000人) 小田原—熱海間に人車鉄道が開通する 国府津—小田原—湯本間に電車が開通し、また、この年に小田原に電燈がつく 小田原に電話が開通する 小田原—熱海間の人車鉄道が軽便鉄道となる
大正時代	1913年 1920年 1923年 1925年	大正2 大正9 大正12 大正14 小田原で初めて家庭用ガスが使われる 熱海線が小田原まで開通し、箱根登山鉄道も開通する 関東大震災がおこり、大きな被害を受ける 大雄山線が小田原—関本間に開通する 久野川が現在の流れになる



しょう 市章の由来

小田原市の市章は、昭和16年に決まりました。

小田原は昔から梅の名所として知られ、また相模湾(さがみ 湾)に面して漁業がさかんです。こうした小田原の特ちょうを表すため、波頭(なみがしら)で梅の花をかたちづくって、市章としました。

時代	年代		おもなできごと
昭和時代	1927年	昭和 2	小田急線が新宿―小田原間に開通する
	1934年	昭和 9	丹那トンネルができ、東海道線が小田原経由となる
	1936年	昭和11	小田原の上水道ができ、給水を始める
	1940年	昭和15	小田原町、足柄町、大窪村、早川村、酒匂村の一部と合併して小田原市がたんじょうする(人口約5万5000人)
	1945年	昭和20	小田原の町が何度も空しゅうをうける
	1948年	昭和23	下府中村が小田原市と合併する
	1950年	昭和25	桜井村が小田原市と合併する
	1954年	昭和29	豊川村、酒匂町、国府津町、上府中村、下曾我村、片浦村が小田原市に入る
	1956年	昭和31	曾我村の一部(上曾我、下大井、鬼柳、曾我大沢)が小田原市に入る
	1960年	昭和35	小田原城の天守かくがつくり直される
	1964年	昭和39	東海道新幹線が開業し、特急が小田原に停車する
	1969年	昭和44	小田原本港が完成する 小田原厚木道路が開通する
	1971年	昭和46	橘町が小田原市と合併する
	1972年	昭和47	西湘バイパスが全面開通する
	1976年	昭和51	市の木(くろまつ)、市の花(うめ)が制定される 現在地に市役所ができる 東口広場が整備され、地下街が完成する
	1978年	昭和53	三保ダムが完成する
	1979年	昭和54	久野に新しい清そう工場ができる
	1981年	昭和56	小田原新港が完成する
平成時代	1994年	平成 6	かもめ図書館・小田原文学館ができる
	1995年	平成 7	6月22日、小田原市が20万人都市となる 市の鳥(コアジサシ)が制定される
	1996年	平成 8	小田原市総合文化体育館・小田原アリーナが完成する
	1997年	平成 9	ごみを9種類にわけ、資源の分別収集、リサイクルが始まる
	1998年	平成10	かながわ・ゆめ国体が開催され、小田原も会場となる
	2000年	平成12	市の魚(メダカ、アジ)が制定される 小田原城銅門が復元される 小田原市が施行時特例市になる 小田原こどもの森公園わんぱくランドがオープンする
	2001年	平成13	都市計画道路小田原早川線開通(城山トンネル開通)
	2003年	平成15	小田原駅東西自由連絡通路(アークロード)が完成する
	2004年	平成16	小田原西口駅前広場が完成する 小田原市教育都市宣言が制定される
	2007年	平成19	コミュニティ放送局・FMおだわらが開局する
	2011年	平成23	小田原のまちづくりにかんする、新たな総合計画(おだわらTRYプラン)がはじまる
	2015年	平成27	おだわら市民交流センターUMECOが開設される
	2016年	平成28	小田原城天守閣リニューアルオープン
	2017年	平成29	城山陸上競技場リニューアルオープン

小田原市の1日



出生

1日当たり 3.2人

平成 30 年



死亡

1日当たり 5.9人

平成 30 年



転入

1日当たり 19.0人

平成 30 年



転出

1日当たり 19.5人

平成 30 年



結婚（本市届出件数）

1日当たり 2.3件

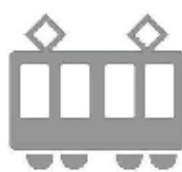
平成 29 年度



離婚（本市届出件数）

1日当たり 1.0件

平成 29 年度



JR乗車人員

（小田原駅・東海道本線）
1日当たり 34,363人

平成 29 年度



小田急線乗車人員

（小田原駅）
1日当たり 33,353人

平成 29 年度



図書館の貸出冊数

1日当たり 1,089冊

平成 29 年度



ごみ（処理量）

1日当たり 191 t

平成 29 年度



し尿（処理量）

1日当たり 4.7kl

平成 29 年度



水道（使用量）

1日当たり 51,653m³

平成 29 年度



火災

（市消防本部管内）
1日当たり 0.21 件

平成 29 年



刑法犯罪

（小田原警察署管内）
1日当たり 3.6 件

平成 30 年



交通事故

（小田原警察署管内）
1日当たり 2.3 件

平成 30 年



天守閣入場者数

1日当たり 2,022人

平成 29 年度